

平成31年度 志教育全体計画

宮城県古川高等学校

校訓
質実剛健 学問尊重 自主自律

本校の教育目標
<p>教育基本法及び学校教育法に定められた高等学校教育の目的並びに目標を達成するために、本校として次の目標を定める。</p> <p>① 健全な心身の育成 質実剛健の精神を涵養し、清潔にして健全な品性を備えた互いに信頼し合う誠実な人間を育成する。</p> <p>② 真理の探究 学問尊重の気風を興し、自発的学習意欲を高め、謙虚に真理を探究する態度と適正な判断力を養う。</p> <p>③ 主体性の確立 自主自律の精神を養い、自己の能力の伸長に努め、広く社会に貢献できる人材を育成する。</p>

本校のスクールアイデンティティー
高い志の下、文武両道に努め、主体的に自己実現を目指す

「志教育」の目標
<p>1 将来の夢実現のため、社会から信頼される誠実さと品性を養う。</p> <p>2 真理の探究を通して文化の発展に寄与しようとする精神を養う。</p> <p>3 社会の発展のため、身につけた能力を積極的に生かそうとする心を育てる。</p>

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の様々な場面で円滑なコミュニケーションができるようその能力を高める。 ホームルームや生徒会、部活動などにおいて自分の立場や役割を確認し、協力・協調しながらよりよい組織を作ろうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究／学習の時間における学問研究やオープンキャンパスへの参加、また出前講座などを通して、自分の適性を理解させ、将来の職業とその実現を目指す進路について主体的に考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全への呼びかけや学校周辺の清掃、また募金活動などを通して、社会に参加することの大切さを学ばせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	<p>○国語</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来就くべき職業や目指すべき上級学校の学部・学科等を自身の力で選択する力を身に付けるために、広く基本的な知識を習得する。「なぜ学ぶのか」ということを念頭に、学習内容の将来への結び付きを意識した活動を行う。また、伝え合う力を高め、それが平和な国際社会成立に不可欠であることを理解させる。 <p>○地理歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史、文化、生活についての理解と認識を深め、平和で民主的な国家形成者として有為な人材の育成を目指す。 <p>○公民</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の中に生きる日本国民として、現代社会について考察させ、平和で民主的な社会の形成に貢献しようとする態度を育成する。 <p>○数学・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に考える力を育てるため、発問を工夫し生徒自身が考える時間をとる。 与えられた問題を解くだけでなく、様々な事象に好奇心と疑問を持ち、自分で意味のある問題を作り上げることができる生徒の育成を目指す。 <p>○理科</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科における様々な実験や実習をとらえて多角的な視点や疑問を持ち、解決しようとする姿勢を育む。 実生活の中に見られる具体例を積極的に提示することで、理科を自分自身の「生」そのものであると捉えさせ、科学が生活に果たしてきた役割を自覚させる。 <p>○保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習態度を身に付けさせ、基礎・基本の定着を図り、ルールやマナーを遵守する態度や、公正・協力・責任・参画などについての理解と意欲を高める。 <p>○芸術</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の個性を生かした創造的な活動を行い、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。 芸術としての音楽を理解し、音楽文化についての理解を深め、芸術を通して豊かな社会を作ろうとする意欲を育てる。 <p>○英語</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を通じたコミュニケーション能力を高めると同時に、様々な社会問題に関心を持ち、国際的視点で理解・判断する能力を高め、国際社会に貢献できる人物を育成する。 <p>○家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己、家庭、社会とのかかわりについて理解させ、生涯の見通しをもって、よりよい生活をおくるための知識と技術を習得させる。また、社会の一員として主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

各教育活動における取組の観点	
○情報	<ul style="list-style-type: none"> 情報に関する正しい知識を身に付けさせ、情報技術を適切に活用する能力を養う。社会の情報化の進展に主体的に対応し、豊かで安全な社会を構築しようとする資質を育てる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 健全な品性を備え、互いに信頼し合う誠実な人間を育成する。 自己の課題や目標を定め、その探究心を養う。 規範意識や実践力を高め、社会に貢献できる人材を育成する。
総合的な探究／学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 学問研究や職業研究を通して、関心のある学問を詳細に調べ、進路研究を進める。また、その研究成果を発表し、プレゼンテーション能力を高める。 出前講座で大学での授業の一端に触れ、将来の職業に対する意識を高める。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ホームルーム、生徒会活動、学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としての意識や集団への所属感、また連帯感や公共精神などを育成し、集団の中で自己実現を図ろうとする姿勢を育てる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 部活動を通して、集団生活における規律と円滑な人間関係を体得させる。

各学年の取組内容	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ①入学後の初期指導によって信頼できる人間関係作りを行う。 ②学問研究や職業研究によって学ぶことの意義と社会への貢献を考える。 ③ボランティアなど自発的な奉仕活動や地域貢献を促し、社会につながる実感を持たせる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ①学習活動・特別活動を通して、社会の構成員であるという自覚を深めさせる。 ②自分の未来に一定の方向性を見出せる生徒の育成を図る。 ③社会をより深く知るための講演会や先輩の話や先輩の話を聞く会などを計画的に実施する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ①進路希望実現への具現化（計画立案、到達目標設定）を行う。 ②面談を通じて進路実現に際しての取り組むべき課題を明確に意識させる。 ③確かな学力を身に付け、進路希望の実現に向けて不断の努力を惜しまないたくましい生徒の育成を図る。

家庭との連携
<ul style="list-style-type: none"> PTA活動の活性化を図り、生徒の将来設計と進路実現を保護者が強力に支援できる体制を整える。

地域・企業との協働
<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員による生徒への期待・要望や、地域で様々な活動に取り組む方々の講話などを通して、望ましい職業観や勤労観を育成する。